事業番号	2

相談員養成講座・スキルアップ事業 【えびの市】

個別事業費	167 千円
交付金額	68 千円

地域の実情と課題

〇相談員のスキルアップやを図るとともに、ほかの相談業務従事者や経験者、相談員へ関心のある方にも参加してもらい、市全体の相談業務のレベルアップや連携強化を図り、相談に来られた方への適切な支援につなげていく。
〇平成18年から「女性相談所」を独自に設置し、相談員2名体制で運営し、相談員不在時の代替相談員を1名お願いしているが、今後の人材確保が課題となっている。

目的・目標

〇今後の女性活躍推進につなげる施策推進を図るとともに、様々な困難な状況にある女性等の最初の相談先、入口としての「女性相談所」の相談員のスキルアップを図ることで、困難な状況にある人へ寄り添い、エンパワーメントの支援を行っていく。

事業目標：何らかのDV被害を受けた人のうちどこか（誰か）に相談した人の割合
目標値 ： 100% （2028年度）
実績値 ： 44．7% （2022年度）

事業の特徴

〇各種相談員や市民を対象とした4回連続の相談員養成講座の開催。
〇男性も対象としている。

連携団体

〇宮崎県男女共同参画センター、えびの警察署、都城児童相談所、小林保健所、市民生児童委員協議会、主任児童委員、人権擁護えびの部会、市校長会、県男女共同参画推進員、市商工会、市関係各課等

事業の効果

〇延べ64名の方が受講され、DVやDV被害者支援についての理解を深めることができた。
〇様々な事例を学び支援の方法や留意点について学び、今後の業務に活かせる学びとなった。

今後の課題

〇えびの市女性相談所の認知度アップのため、広報紙や研修会や講座等様々な機会で、周知を図っていく。
〇相談員確保のため、養成講座や各種相談員研修を実施する。

事業の概要

1　相談員養成・スキルアップ事業

（1）女性相談員の相談の質・スキル向上を図る研修会等を開催し、他の相談業務従事者（経験者）や相談業務に関心を持つ方へ参加してもらい、市全体の相談業務のレベルアップや連携強化を図るとともに、相談員の掘り起こしをする。

DV支援についての講座（4回）

1.DVとは～その本質と構造を理解する～

2.DV被害者支援のあり方～相談に際しての基本的態度と留意点・組み立て～

3.DVの中にいる子どもへの影響と支援のあり方～「痛い」に気づく～

4.DV被害者支援の実際～事例をもとにワーク～

延べ64名参加